

26年度

こばと子育て支援センター便り

2月

社会福祉法人愛育福祉会 こばと保育園

住所 : 延岡市大武町5299

電話 : 0982(35)3737



インフルエンザ発症に関しましては、いろいろとご協力をいただきまして、ありがとうございました。しかし、まだまだ終息状況ではありません。できる限りの早期対応、園内消毒に努めますので、引き続き各家庭でもインフルエンザに対する用心をよろしくお願い致します。

さて、私は役職として、延岡市の「延岡市次世代育成支援行動計画」の意見提案者として参加したことがあります。5年毎の前期・後期計画を立案していくのですが、行動計画がもやもやとした感じだと思っていた。このたびインフルエンザの休暇中雑読の中で「そうなのか!」と理解できたことがありました。考え方を柔軟にして結び合う世界が更によりよいものになるとよいですね。

＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊ 舩（もやい）＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊＝＊
結び合う世界の創造へ “つくる計画” から “残す計画” へ

内山 節 (MOKU 2015年1月号)

私は以前、群馬県の新総合計画の作成に関わったことがあります。新総合計画は、各都道府県が5年ごとにつくるいわばマスタープランですが、各地の計画を見てみると、ほとんど同じことが書かれていました。「自然と共生する」「弱者にやさしいまちづくり」などの文言が並び、具体的な目標としては、先端産業の育成や高速交通網を確立するといったことが掲げられている。どうしてこんなつまらない内容になるのかというと、5年という短い時間幅で考えることに問題があるのです。“5年計画”ではどうしても、当面の課題と時代的な背景への配慮を盛り込むことに終始してしまうわけですね。そこで群馬県は、“5年計画”から“100年計画”に切り替えました。すると途端に、何かを“つくる計画”に意味がなくなってしまうんです。先端作業の育成などと言っても、何が先端なのかという前条件が変わっていますし、百年後に果たして高速道路が必要なのかどうかも分かりません。

では百年後、みんなが困らない社会をつくるには何が必要なのか。

まず、どんな社会になろうとも、自然がないことには生きづらいですし、自然がただあるのではなく、人間との関係性を残していかなければならない。産業で言えば、農業や漁業などの第一次産業が衰退しては生きていけません。自分たちの生活を豊かにするための手仕事は大事にしたい。それらはコミュニティがあることで続いていく…。と、いつの間にか“つくる計画”から“残す計画”へと変わっていったのです。

また、“残す計画”を立てることで、残すためにどうつくり直すかという具体的な課題も見えてきます。長い時間幅で考えることによって、見える世界が変わってくる。目先の利益を追いかけるだけでは、どんな社会にしたいか、という理念は示せません。いまの政治も経済も、もっと長い時間幅で見ていく必要があると思います。



2月 おもな活動計画



<月のことば>

てあらいゴシゴシ うがいガラガラ なんでも食べて元気にあそぼう

<生活のめあて>

早寝、早起き、朝ごはんを毎日続け、病気に負けない体をつくろう

<活動のめあて>

天気の良い日は、寒さに負けず戸外あそびを楽しもう

	第1週 2日～7日	第2週 9日～14日	第3週 16日～21日	第4週 23日～28日
ひまわり	<ul style="list-style-type: none"> 表現あそび 歌と身体で表現することを楽しもう 手話練習 「ともだちになるために」 <p>☆詩吟 4日 ☆硬筆 4日 ☆英数 6日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 制作 廃材、自然物を使ってひな人形作ろう ルールのあるあそびを楽しもう ころがしドッジボール こおり鬼 <p>☆詩吟 9日 ☆英数 13日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動あそび 音楽にあわせて楽しむ(縄・ボール・フープ) 正しい書き順で平仮名を書こう <p>☆詩吟 25日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自信を持って読もう 「プレーメンの音楽隊」
ばら	<ul style="list-style-type: none"> 絵を描こう 雪だるまを作ろう <p>☆詩吟 4日 ☆英数 6日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤あそびをしよう なわとびをしよう ルールのあるあそびをしよう(鬼ごっこ) 制作 廃材を使ってプレゼント作り <p>☆詩吟 9日 ☆英数 13日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体表現 (卒園式の練習) 	<p>☆詩吟 25日</p>
すみれ	<ul style="list-style-type: none"> 制作 のり、はさみを使って制作あそびを楽しもう ～ひな人形づくり～ 	<ul style="list-style-type: none"> 制作 のり、はさみを使って制作あそびを楽しもう ～プレゼント作り～ 	<ul style="list-style-type: none"> 身体表現(卒園式の練習) 歌をうたおう 音楽にあわせて身体を動かしていこう 	<p>☆詩吟 25日</p>
ちゅうりっぷ	<ul style="list-style-type: none"> 制作 クレヨン、のりを使ってひな人形を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 制作 プレゼント作り 戸外で鬼ごっこをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> 身体表現 音楽にあわせて体を動かそう 	<ul style="list-style-type: none"> 歌 卒園式の歌を覚えて大きな声で歌おう
つぼみ	<ul style="list-style-type: none"> 手伝ってもらいながら、手を洗ったりブクブクうがいをしよう 広い場所で追いかけっこあそびをしよう ブロックや容器を使ってスタンプあそびをしよう 			

※ことばと保育園は、活動のめあてにそってクラス活動を計画します。

< 2月・3月の主な行事 >

2月 3日(火) お楽しみ会 豆まき
10日(火) 保護者役員会・ひまわり保護者会
14日(土) 「みんなあつまれ! part2」
～数あそび～(童夢館)
19日(木) 東海東小学校ふれあい会(年長)

お弁当日
2月21日(土)
3月14日(土)

3月 7日(土) 第40回こぼと保育園卒園式
16日(月) 新規入所個人面談
17日(火)～20日(金) 在園児入所個人面談期間
28日(土) 13:30～ こぼと児童クラブ保護者総会
// // 15:00～ こぼと保育園保護者総会



すくすくコーナー(保健・健康 等)

インフルエンザの罹患児が少なくなってきました。このまま終息してくれればと思うところですが、まだ油断はできません。手洗い・うがい、人混みを避けるなど予防をしっかりとこなして下さいね。



他の感染症もでてきています。ご注意ください!

アデノウイルス～高熱で、風邪の症状です。「インフルエンザの検査はマイナスだったけれど、アデノウイルスでした・・・」と言われる方もいらっしゃいます。発熱の場合は念のために検査をされるとよろしいです。

流行性耳下腺炎～発熱には個人差があるようです。「耳が痛い」「ご飯を食べると痛い」と訴えた時などはご注意ください。



あ・の・ね(地域情報・つぶやき 等)

～鬼の話をしていると～

「おにさん こわ～い!」と涙目のNちゃん(2歳6ヶ月)。それを聞いていたH君(2歳9ヶ月)が・・・「H君はこわくないよ!『アンパンチ!』でやっつけてあげるね!」とNちゃんにやさしい言葉をかけていました。微笑ましい2人の会話に胸がキュンとなりました♡

おすすめの本

○バムとケロのさむいあさ

子どもたちが大好きなバムとケロシリーズの絵本です。鼻が凍りそうな火曜日の寒い朝、こんな日は池も凍っているはず。そこで見つけたのは、池と一緒に凍っているアヒルのかいちゃん・・・。

○おにのパンツ

おにのパンツは5年はき続けても、10年はき続けても丈夫だから全然破れないんです。

だって、トラの毛皮でできているから! そんな楽しい歌をそのまま絵本にしました。歌いながら楽しんでください。

今月のうた・てあそび

♪豆まき ♪鬼のパンツ ♪ゆき ♪ゆきのペンキ屋さん
♪たき火 ♪ごんべさんの赤ちゃん



1月のおはなしひろば

朝のお集まりの時に、先生達がさまざまなお話をします。その内容やお話を選んだ理由、また、お話をした時の子どもたちのようすなどをお知らせします。

○ 内 容 ○

○ 選んだ理由 ○

○ 子どもの様子 ○

田中 廣子 先生（つぼみクラス）のおはなしより

「体の臓器」について
自分の体も他人の体も大切にしないといけない事をお話ししました。感染予防について手洗い、うがい、マスク着用など自分でできる予防についてお話ししました

感染症が流行する時期なので、自分達でもできる予防法をお話ししました。



体の中でも血が出ることをお話するとびっくりしていた子どももいました。予防についての質問にもしっかりと答えてくれました。

高平 京子先生（ちゅうりっぷクラス）のおはなしより

「静電気」について
ドアノブや車のドアに触れた時やセーターなどを脱ぐ時にパチパチするものが静電気の仕業だということを話しました。実際に下敷きを用いて髪の毛に当てて摩擦をおこすとどうなるかを実験してみました。

身近にある科学的な不思議として「静電気」を選びました。



「静電気」のことは年長さんは知っていました。下敷きを使った実験には興味深く目を向けていましたよ。

秋本 智子 先生（3歳以上児クラス）のおはなしより

「鬼は何からできているか？」について
もうすぐ節分の時期を迎えて、日本は昔からどんな風習があり、どんな考え方から「鬼」ができたのかを図を用いながらお話ししました。
お話の参考資料として『鬼が出た』という本を使いました。
鬼を題材とした絵本もたくさんあります。この時期に、ご家族で読んでみませんか？
児童館の図書室では、絵本を貸し出しています。送迎の際にお立ち寄りください。

鬼ってこわいの？
この時期だからこそ、「鬼ってなんだろう？」と子ども達と一緒に考えてみたいと思い、この話を選びました。



話を聞いて、豆まきでは自分の心の中のいろいろな「鬼」をやっつけようと、子ども達も思ったようでしたよ。でも、鬼ごっこなどでは、「あこがれの鬼」でもあるようです（笑）。
とても興味を持って聞いてくれましたよ。